

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	離散数学		
英文授業科目名	Discrete Mathematics		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	岩崎 英哉		
居室	西9-517		

公開E-Mail	授業関連Webページ
iwasaki@cs.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
離散数学では、情報工学に関わるあらゆる学問を理解していくうえで重要ないくつかの基礎概念について学ぶ。これらを理解することにより、専門書を読み、自分で学術的な文書を書くための能力を養うと同時に、論理的な思考力を身につけることを目指す。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし。

<b>【教科書等】</b>
教科書：指定しない。講義プリントを配布する。 参考書：恵羅博他著「離散数学」横浜図書 など

<b>【授業内容とその進め方】</b>
(a) 授業内容 第1-2回：集合 第3-5回：論理 第6-8回：対応と関数 第9-11回：順序と同値関係 第12-13回：数学的帰納法と関係の閉包 第14回： グラフと木

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

第15回： 期末試験

(b) 授業の進め方：

離散数学は、自分で実際に演習問題を解いてみて、はじめて深く理解することができる。そのため、講義を聞いているだけでは不十分であり、授業中に与える演習問題を自分の力で解いてみるのが重要である。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

配布したプリント等に基づき、予習復習をきちんと行うこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

原則として期末試験の成績に基づいて評価を行う。授業中に何度か小テストを行い、この結果を考慮することもある。授業で取り上げる各項目の基本的概念についての理解ができていることが合格の最低基準である。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、事前に電子メール等で日時を決めること

【学生へのメッセージ】

本講義で扱う内容はコンピュータサイエンスの基礎なので、しっかり学習してください。

【その他】

なし